（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達療育クラスラブアリス江別校1組（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年　10月　14日	～	2025年　11月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	48	（回答者数）	28
○従業者評価実施期間	2025年　10月　14日	～	2025年　11月　30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　12月　1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様支援	一か月に一度面談希望用紙を配布しています。	面談の希望が出ていなくても、欠席の連絡の際や送迎時にその時の様子を聞くだけではなく最近の様子やお家での困りごとが無いかを聞き取るようにします。
2	保護者様の要望を聞き取り、必要なことを計画に反映するようにしています。	送迎時やメール・電話での聞き取りを全職員が行っています。	保護者様の要望・児に今必要な支援は何かを考えるために、個々での学習・会議を開きみんなの意見を擦り合わせていきます。
3	施設が広く様々な運動支援が出来きます。	外で自転車の補助輪外しの練習・跳び箱の練習・縄跳び練習・ボールの投げ方や受け方・リズム運動や粗大微細運動・感覚統合系の運動を、個々に合わせて練習しています。	学校で何に困っているか、担任の先生からの聞き取りを強化していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこどもと接する機会の少なさ。	安全面の不安があります。 特性の強い児童もおり外部参加のハードルが高いことがあります。 療育を中心にしているためです。	公園での簡単な交流をします。 地域のイベントを見に行きます。
2	職員の経験差	経験年数に差があります。	支援方法に差が出ないように、経験が豊富な児童発達支援管理者から個々に「こういう時はこうしてほしい」や決定事項を伝えるようにします。
3			